

末子が未就学児の子どもを持つ 父親の労働日における生活時間

大塚美耶子

国立成育医療研究センター

政策科学研究部

論文情報 : <https://www.hws-kyokai.or.jp/paper/120-2016-02-15-03-07-32/2588-202112-4.html>

末子が未就学児を持つ父親の、仕事がある日の生活時間を「仕事関連時間」ごとに4つのカテゴリーの分布を調べる

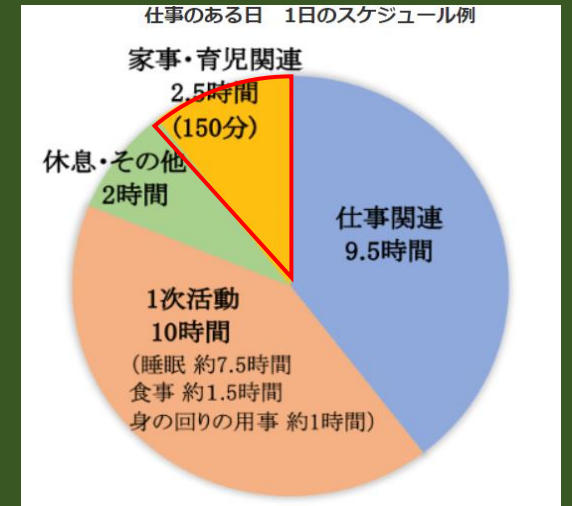
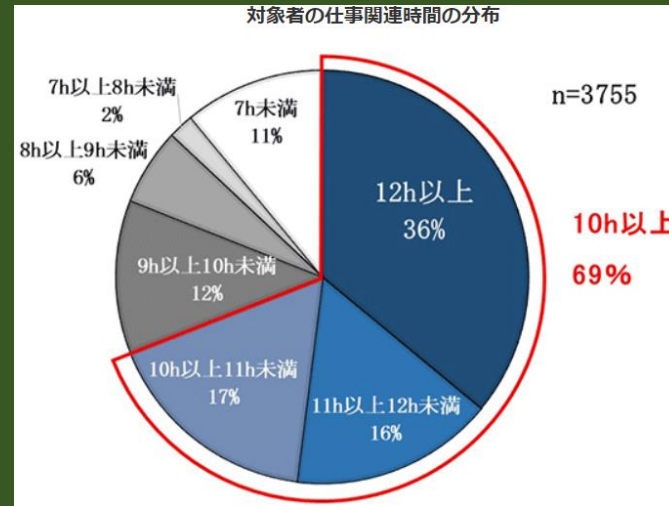
• データ：
社会生活基本調査
(2016年) 調査票A

• 分析対象者：3,755人

• 背景・要因：
父親の家事・育児関連時間が増えない原因として、父親が仕事関連に費やす時間が長いことが指摘されている。

• アウトカム：
1日24時間における「仕事関連時間」、「1次活動時間」、「休息・その他の時間」、「家事・育児関連時間」の分布。

• 結果：



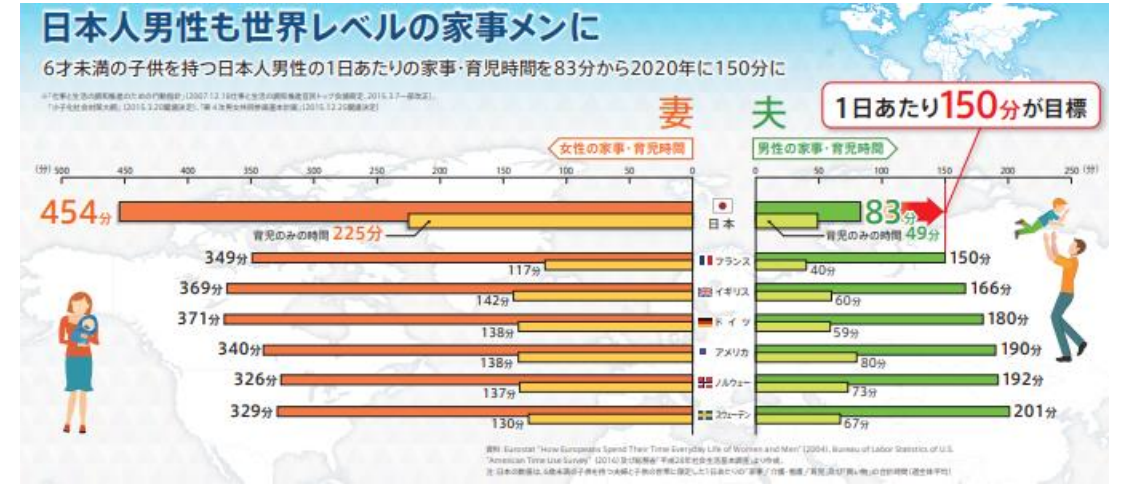
父親の「仕事関連時間」の長さごとの「1次活動」、「休息・その他」、「家事・育児関連」の時間

父親の仕事関連時間	仕事関連		一次活動					休息・その他		家事・育児関連	
	平均時間	1日あたり	睡眠	身の回りの用事	食事	一次活動合計平均時間	1日あたり	平均時間	1日あたり	平均時間	1日あたり
12h以上	13:35	57%	6:44	0:55	1:07	8:46	37%	1:19	5%	0:10	1%
11h-12h未満	11:18	47%	7:16	1:04	1:20	9:40	40%	2:28	10%	0:24	2%
10h-11h未満	10:18	43%	7:32	1:04	1:23	9:59	42%	2:52	12%	0:40	3%
9h-10h未満	9:21	39%	7:32	1:11	1:30	10:13	43%	3:20	14%	0:53	4%
8h-9h未満	8:24	35%	7:46	1:10	1:36	10:32	44%	3:50	16%	1:05	5%
7h-8h未満	7:23	31%	7:56	1:05	1:35	10:36	44%	4:48	20%	1:05	5%
7h未満	2:10	9%	8:22	1:23	1:44	11:29	48%	7:31	31%	2:42	11%

• 1日24時間から、本研究のデータおよび先行研究から推計された「1次活動時間」10時間と、「休息・その他の時間」の2時間を差し引いた場合、2.5時間（150分）の「家事・育児関連時間」を確保するためには「仕事関連時間」を9.5時間未満にする必要がある。

背景

- 男女が共に仕事と家庭生活を両立できる暮らしやすい社会の実現。
- 目標：2020年までに父親の家事・育児関連の時間を**1日あたり150分に。**



* 内閣府男女共同参画局、「平成28年社会生活基本調査」の結果から、2017.10

- 父親の家事・育児関連時間が増えない原因
- ⇒ 仕事関連時間が長い
- 仕事と育児を両立させたい父親は多い
- ⇒ 育児休業制度の利用を利用しない・できない割合が多い
- ⇒ 制度があっても取得が困難

* 内閣府男女共同参画局、令和2年版男女共同参画白書（概要）
* 日本労働組合総連合会、男性の育児等家庭的責任に関する意識調査2020、プレスリリース
* 厚生労働省、仕事と育児等の両立に関する実態把握の研究
* 内閣府男女共同参画局、仕事と生活の調和推進のための調査研究～育児や介護による生活の変化が働き方へ与える影響についての意識・実態調査～

目的

- 未就学児の就労している父親の、仕事日における**1日24時間**の**生活時間の分布**を把握。
- 父親が**1日あたり150分**の『**家事・育児**』を行えるための**具体的な方法**を探る。

方法

データ : 「社会生活基本調査」 2016年 調査票A (176,285人)

対象者 : ①末子が未就学児、②父親、③ 2人親世帯、
④普段仕事をしている、⑤労働日をすべて満たす (3,755人)

分類 : 「**仕事関連時間**」、 「**家事・育児関連時間**」、 「**1次活動時間**」、
「**休息・その他の時間**」の4つのカテゴリーに分類。 * 総務省調査結果を参考

分析 : 「仕事関連時間」を時間ごとに7群に分割。**7群の分布**を調べ、
群別に**1日における4つのカテゴリーの平均時間**を算出し
記述統計を実施。

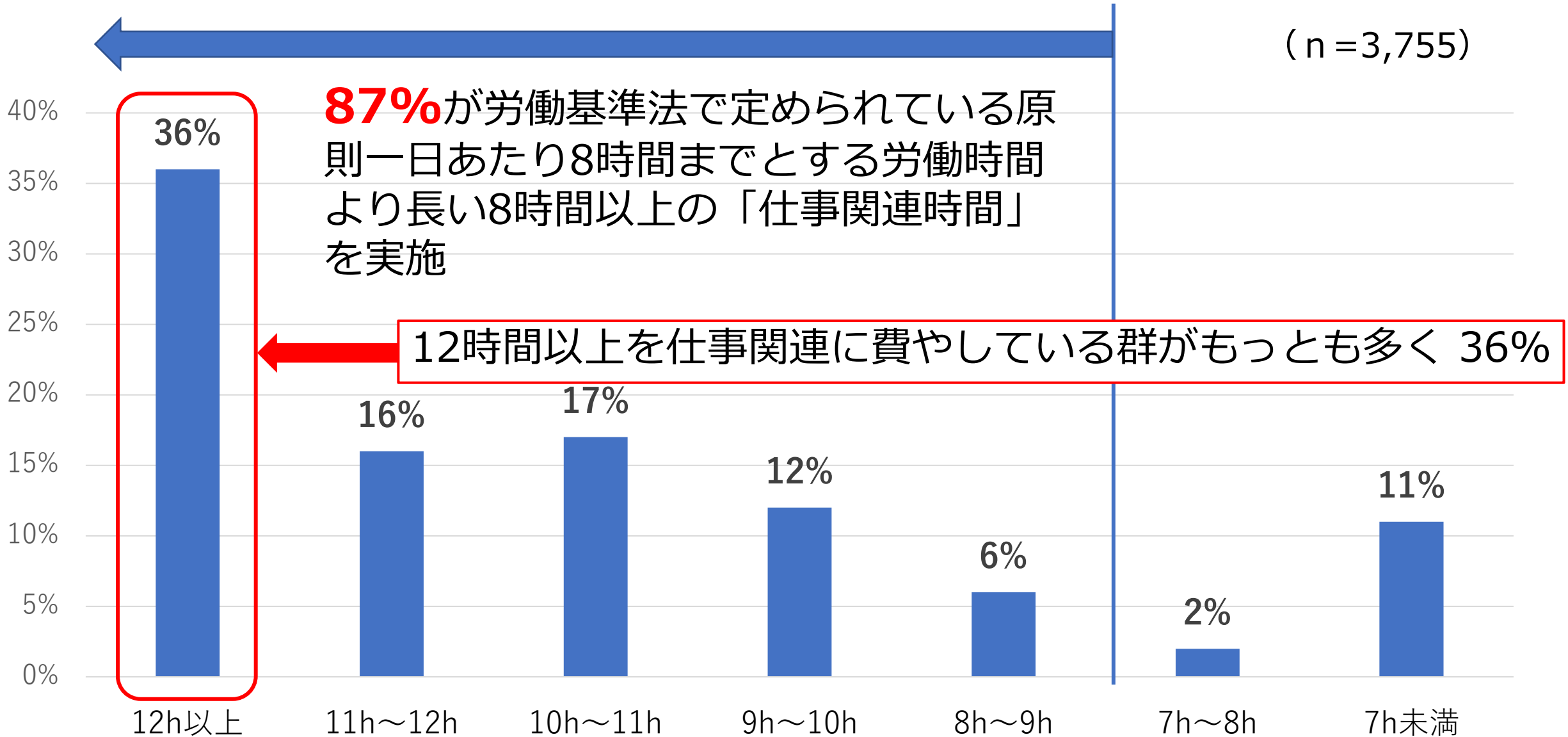
結果 1 基本属性

末子が未就学児の子どもを持つ2人親世帯の父親の基本属性 (n = 3,755)

平均年齢 (歳 ± SD)	37.1 ± 6.2		
	%	6歳未満の子どもの数	
雇用形態		1人	64
正規の職員	84	2人	26
パート/アルバイト/	3	3人	3
契約社員等		4人	< 1.0
事業主	6	主観的健康感	
自家営業の手伝い	1	良い	30
会社の役員	4	まあ良い	22
その他	< 1.0	ふつう	43
従業員数		あまり良くない	4
1~9人	18	良くない	< 1.0
10~99人	24		
100~999人	26		
1000人以上	23		
官公庁など	8		

- 対象者の平均年齢と標準偏差は37.1±6.2歳
- 雇用形態としては正規職員が一番多く全体の約84%。
- 対象者の世帯に住む6歳未満の子どもの人数は1人が全体の64%で最多、次いで2人が26%。
- 主観的健康感には43%の方がふつうと回答。

結果 2 「仕事関連時間」の分布



結果3 「仕事関連時間」別、各カテゴリーの時間

父親の仕事関連時間	仕事関連		1次活動		休息・その他		家事・育児関連	
	平均時間	1日あたり	平均時間	1日あたり	平均時間	1日あたり	平均時間	1日あたり
12h以上	13:35	57%	8:46	37%	1:19	5%	0:10	1%
11h以上12h未満	11:18	47%	9:40	40%	2:28	10%	0:24	2%
10h以上11h未満	10:18	43%	9:59	42%	2:52	12%	0:40	3%
9h以上10h未満	9:21	39%	10:13	43%	3:20	14%	0:53	4%
8h以上9h未満	8:24	35%	10:32	44%	3:50	16%	1:05	5%
7h以上8h未満	7:23	31%	10:36	44%	4:48	20%	1:05	5%
7h未満	2:10	9%	11:29	48%	7:31	31%	2:42	11%

- 「1次活動時間」は、「仕事関連時間」が7時間以上～12時間未満の群では、概ね10時間前後。
- 「仕事関連時間」が長いと「休息・その他の時間」が短い傾向。
- 「家事・育児関連時間」も「仕事関連時間」が長いと短い傾向。
- 12時間以上の「仕事関連時間」の群では「家事・育児関連時間」は一日平均10分。

「仕事関連時間」は仕事・通勤/通学・学業に費やされる時間

「1次活動」は睡眠時間や食事時間と身の回りのことに費やす時間

「休息・その他」は通勤/通学を除く移動・テレビ/ラジオ/新聞/雑誌・休養/くつろぎ・学習/趣味/娯楽・スポーツなどその他など時間

「家事・育児関連時間」は家事・育児・介護・買い物に費やされる時間

考察

- **12時間以上の「仕事関連時間」**を持つ父親の割合が全体の36%。
- 「仕事関連時間」が長いと、「家事・育児関連時間」や「休息・その他の時間」が短くなる傾向あり。
- 「**1次活動時間**」は「仕事関連時間」の影響が少なく1日**10時間**前後。
- 「**休息・その他の時間**」は「仕事関連時間」が12時間以上の群を除き**2時間**以上は確保されている。
- 「**家事・育児関連時間**」の目標は**2.5時間（150分）**。
- **24時間－10時間－2時間－2.5時間＝9.5時間（仕事関連時間）**

結論

父親の**約7割**が**1日10時間以上**「**仕事関連時間**」に費やしている。

⇒より多くの父親が**150分**の「家事・育児関連時間」を達成するには、
「仕事関連時間」を**9.5時間未満**に抑えないと達成不可能。

⇒父親への情報提供や意識啓発のような個人の努力に依存した対策だけではなく、長時間労働の是正や通勤時間の短縮等、物理的に父親の時間をあけるための**制度の整備等対策が必要**。

自己紹介

職歴

- BASFジャパン株式会社ポリマー本部 ビジネスコントローリング
- 青年海外協力隊 統計隊員（ブルキナファソ）
- 滋賀医科大学大学病院 初期研修
- 厚生労働省 母子保健課/医政局医療安全推進室/結核感染症課
- 世界保健機関（WHO-HQ）WHO Health Emergencies Programme
- 成育医療研究センター研究所 政策科学研究部
- 国立感染症研究所 感染症疫学センター

連絡先

ご質問等ある方は、下記のメールアドレスまでお問い合わせください。

fmc@ncchd.go.jp



学歴

- ボストン大学経済学部 学士過程卒業・修士課程終了
- 滋賀医科大学医学科医学部卒業
- 長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環
(DrPH課程) 在籍中